

谷川岳 - 天神尾根から往復 - 90/4/15 (日) ガス後小雨
手塚紀恵子、田中健

4月は、日曜日毎雨が降っている。15日も天気予報は、余りよくなかったが、雪や山早春の木ぎ、ゲレンデでも、と考えてでかけた。

幸運な事に7時半に天神平を、出発した時には、ガスが濃かったけど、雨は落ちてこなかった。スキーを持った人、ピッケルとアイゼンの人、共に非常に多い。西黒沢、田尻沢は、雪が少なく、流れが出ていて滑るのには不適である。

手塚さんは、スキーを引っぱって、田中は、1650M位までシールで登る。他の人達は、ザックに取付ている。スキーを引っ張るのは、一般的でないのだろうか。サラメだった雪が、上部に行くにつれ、やや堅くなっていた。2時間半ちょっとで頂上に着く。調子が良ければ、芝倉沢を下りようなどと話をしていたが、ガスがひどくとり止めた。先に行くパーティもある。

スキーを付けケルンの指導標を確認して、避難小屋を見に行く。水でビショビショだが、濡れそう。直ぐに下る。赤布付きの竹が立ってはいるが、ガスが濃い。南面の源頭部に入るわけにはいかず、フォールラインに少し下り、尾根へトラバースし、少し下り、トラバースした。やや不満である。やはり、エッジで雪を削る音、滑る気分はこの上ない。登って来る人達が多い。1600Mまで下り、ひとやすみして、時間も早いのと、ガスが切れそうなので、1900Mまで再度登ることにした。

1時間で登り、再び下る。しかし、ガスははれず、視界はない。先に下りたので、加減が分かり少しは、思い切って下りられた。ガスが切れたのは、標高が低くなったせいだったのである。1時間ほどでスキー場につく。スキー場に着くと、雨が降り出した。

水上では、桜が三分咲きくらいで、上牧辺りでは、満開になる。今年2度目の桜を楽しんだ。天気わりには、楽しめたスキーであった。

タイム：天神平730 - 頂上950 / 1010 - 1600M、1020 / 1035
1900M指導標1130 - 天神平1240